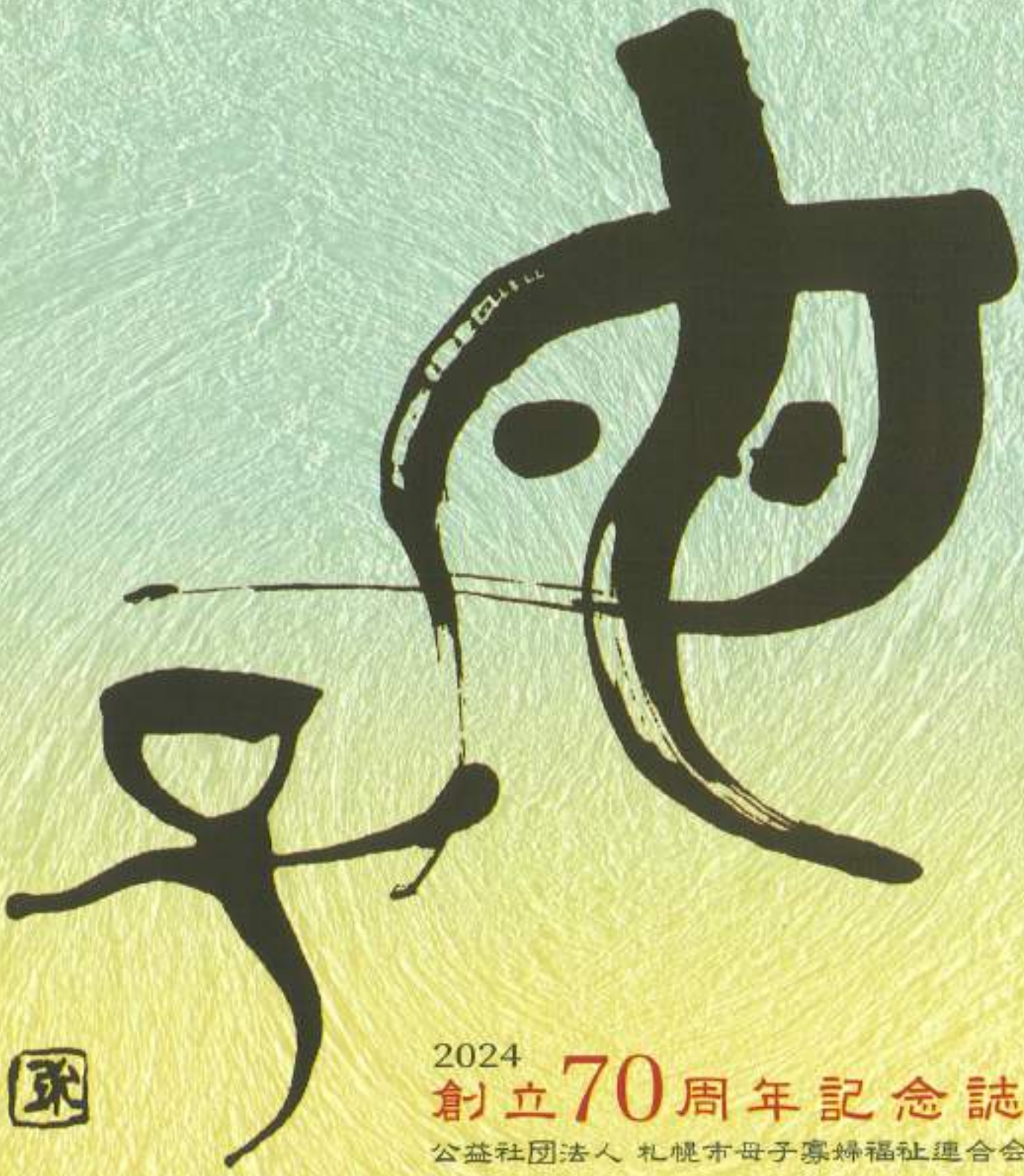

2024

創立70周年記念誌

公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会

秩父宮妃殿下御歌

あらき世の
風に堪えつつ
手ひとつに
子をそだてゆく
母に幸あれ

公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会歴代会長（理事長）

初代

梅 田 幸 子

昭和29年4月～昭和34年3月

二代

伊 藤 松 子

昭和34年4月～昭和42年3月

三代

土 肥 キ ヨ

昭和42年4月～昭和51年4月

四代

島 田 きくえ

昭和51年4月～昭和52年4月

五代

高 田 悦 子

昭和52年4月～昭和62年5月

六代

森山實枝子

昭和62年5月～平成3年5月

七代

本庄照香

平成3年5月～平成9年5月

八代

高田悦子

平成9年5月～平成13年5月

九代

浅野涼子

平成13年5月～平成17年5月

十代

上田厚子

平成17年5月～平成29年5月

十一代

箭原恭子

平成29年5月～

公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会

創立70周年記念誌

目　次

あいさつ

札幌市母子寡婦福祉連合会　理事長　箭原　恭子 …… 1

祝　辞

札幌市　市　長　秋元　克広 …… 2
札幌市社会福祉協議会　会　長　梶井　祥子 …… 3
全国母子寡婦福祉連絡協議会　理事長　藤田　君子 …… 4

70周年に寄せて

札幌市母子寡婦福祉連合会　10代理事長　上田　厚子 …… 5
東区母子寡婦福祉連合会　貫　文子 …… 6
白石区母子寡婦福祉連合会　熊谷智恵子 …… 7

2015年～2025年のあゆんできた道 …… 8

資　料

28
29
31

該当のページを除外しております

70年のあゆみ …… 32

編集後記 …… 46

創立70周年によせて

公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会
理事長 箭 原 恭 子

戦後 79 年がたち、世界で唯一の被爆国である日本の「日本原水爆被害者団体協議会」が今年度のノーベル平和賞を受賞しました。同時期に当団体が 70 周年という大きな節目を迎えることの意味を深く感じております。

当団体は戦争未亡人たちが、子どもとの生活を守るため、お互いにささえあい、力を合わせ「わが幸はわが 手で」を掲げ、自立することを目的に昭和 29 年「札幌市母子くらしの会」として創立されました。長年にわたりご尽力いただいている会員の皆様、そして、温かく見守ってくださっている地域の皆様、関係機関の皆様に感謝申し上げます。

70 年の歴史の中で、当団体は、ひとり親家庭が抱える経済的な困難や社会的孤立といった問題に対し、札幌市や関係団体の皆様の力をお借りしながら様々な支援活動を行ってまいりました。食料支援、就業支援、子育て支援など、多岐にわたる事業を実施し、多くのひとり親家庭と共に歩んでまいりました。また、毎年福祉大会で採択された「大会宣言・決議事項」を、行政機関に対し政策要望として提出しており、ひとり親家庭に関する制度の改善にも努力してまいりました。

これらの活動は、会員の皆様と、ボランティア活動や寄付など、それぞれの立場で、様々な形で行ってまいりました。特に、困難な状況にある会員を励まし助け合う姿は、当団体の大きな力となっています。

しかし、現状に満足することなく、私たちは今後も、ひとり親家庭が安心して暮らせる社会の実現に向けて、活動を続けていく決意です。特に、近年では、コロナの影響により、ひとり親家庭の生活がますます厳しくなっており、私たちの活動はこれまで以上に必要とされていると感じます。

70 年の歴史を新たな章へと繋げ、より多くのひとり親家庭が笑顔で暮らせる社会の実現を目指して、全力を尽くしてまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

最後に、本記念誌発行のために、秋元札幌市長をはじめ多くの皆さまからご寄稿いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

創立70周年によせて

札幌市長　秋　元　克　広

この度、公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会が創立 70 周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

また、これまで貴連合会には、本市の福祉行政の推進について特段の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

貴連合会は昭和 29 年に「札幌市母子くらしの会」として発足されて以来、会員同士がお互いの支えとなり、励まし助け合いながら数多くの困難を乗り越えられ、地域に根差した団体として熱心に活動されてこられました。今日の御発展があるのは、歴代の会長をはじめとする役員の方々や会員の方々の弛まぬ御尽力の賜物であり、あらためて深く敬意を表するところです。

さて、札幌市では子どもを育てやすい環境づくりとして、昨年は新たに中学生の通院医療費を子ども医療助成の対象としたほか、認可保育所等における第二子以降の保育料無償化といった子育て世帯の負担軽減など を進めてまいりました。

また、現在「第 5 次さっぽろ子ども未来プラン」を策定しているところでございますが、ひとり親家庭の皆様への支援として、「札幌市ひとり親家庭支援センター運営事業」における各種相談の推進や就業支援事業の充実、「ひとり親家庭学習支援ボランティア事業」における子どもへの学習支援などを実施していくこととしており、引き続き、ひとり親家庭の皆様が健康で安心して御家族とともに暮らせるよう、全力で取り組んでまいります。

現在、物価高騰や雇用形態における賃金格差など様々な課題に直面しており、今後の生活に不安を感じている方が多いかと思いますが、ひとり親家庭や寡婦の皆様が安定した生活を送り、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向けて、今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の今後のますますの御発展、そして会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、70 周年の記念に当たってのお祝いの言葉とさせていただきます。

札幌市母子寡婦福祉連合会
創立70周年を祝して

社会福祉法人　札幌市社会福祉協議会
会長　梶　井　祥　子

このたび、札幌市母子寡婦福祉連合会が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会は、昭和29年4月に創立されて以来、これまでの長きに亘り、市内のひとり親家庭や寡婦の方を支援し、その生活の向上を図ってこられました。ひとり親家庭や寡婦の方が経済的にも精神的にも安定して生活していくためには、法律による母子寡婦福祉施策と併せて、貴会が取り組んでこられました会員同士の交流事業や母子寡婦世帯の生活支援、就労対策などの活動が欠かせないものであります。子育てと生計の維持をひとりで行わなければならないひとり親家庭や、単身で生活を営まなければならない寡婦の方にとっては、悩みを共有できる仲間や相談できる職員の存在は大きく、心の支えになっているものと推察いたします。こうした取り組みを通して、大きな成果を挙げてこられたことに、改めて深く敬意を表する次第でございます。

私ども札幌市社会福祉協議会は、社会福祉法に規定される「地域福祉の推進」を目的として、「誰もが孤立せずにお互いに支え合うやさしいまちづくり」という基本理念のもとに、「福祉のまち推進事業」、「ふれあい・いきいきサロン事業」など、様々な事業を実施しております。この基本理念は、地域という生活の場において、子どもからお年寄りまで、ひとり親家庭も障がいをお持ちの方もすべての方がつながり合い、支え合うことで初めて達成されるものであり、母子寡婦福祉の向上に取り組む貴会をはじめとした多くの団体と手を取り合って、これからも努めて参る所存でございます。

皆様におかれましては、このたびの70周年を契機として、さらに大きく飛躍されますことをご期待申し上げますとともに、今後とも、私ども社会福祉協議会にお力添えを賜りますようお願い申し上げるところでございます。末尾となりますが、貴会の益々のご発展と、役員の皆様、職員の皆様、そしてひとりひとりの会員の皆様のさらなるご活躍を心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立70周年に寄せて

一般財団法人　全国母子寡婦福祉団体協議会
理事長　藤　田　君　子

札幌市母子寡婦福祉連合会が創立 70 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は昭和 29 年「母子くらしの会」に始まり、創立 70 年を迎えられました。設立当初の母子家庭の状況は社会的、経済的、また精神的にも大変厳しい中、母子家庭の自立に向けた事業展開など自立自助の精神に取り組んでこられ、この精神の実現には様々なご苦労があったことと推察いたします。ひとり親・寡婦の福祉向上の推進のためにご努力を重ねてこられました歴代の会長、理事長様をはじめとする役員・会員の組織力と献身的な支えに敬意を表します。

設立された「昭和」の時代から「平成」「令和」へと移りましたが、ひとり親家庭の現状は大変厳しく、新型コロナウイルス感染症の拡大、物価の高騰などによりひとり親家庭・寡婦の経済的、精神的状況は厳しさを増しています。

生活の維持と子育ての両立をしなければならない母子家庭等において、これまで以上に保護者、子どもへの支援が求められています。

ひとり親家庭、寡婦が抱える課題は社会全体の問題であり、支援のニーズも多様化・複雑化しています。しかし、時代が移り社会が移り変わり、ひとり親家庭・寡婦を取り巻く環境が変化したとしても私たちは相互に固い絆を結び、励まし合いながら幾多の困難を克服してきた経験を活かし、また貴会の長い年月によって培われた時代に対応した経験と知識は、これからの時代に対応できる組織として今後も重要な役割を果たされる事だと期待しております。

私たちは子どもたちが夢を諦めることなく、夢に向かい心豊かに育ってほしいと願っております。これまで以上にひとり親家庭・寡婦の生活の向上、安心できる明るい未来を皆で共に実現してまいりましょう。

結びに、ひとり親家庭等の自立に向けた取り組みを推進してこられました貴会のますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立70周年に寄せて

公益社団法人　札幌市母子寡婦福祉連合会
十代理事長　上　田　厚　子

札母連が創立 70 周年を迎えられましたこと本当に嬉しく誇らしくおもっております。

私は、平成 17 年 5 月から平成 29 年 5 月までの 12 年間を理事長として務めさせていただきましたが、この 12 年間は 沢山の方々に支えられ、知恵とエネルギーをいただきながらなんとか続けることが出来ましたことを心から感謝いたしております。

顧みますと、会長になって間もなく、平成 18 年度の全国母子寡婦福祉大会の開催地が難航の末、急遽札幌市に決定ということになりました。

予期せぬ事でしかも未経験、その上短い準備期間の中で、全国から 1,000 名の参加者をお迎えする会場の手配から実行委員の立ち上げ等々、行政、役員、会員、事務局が一体となった協力体制で 2 日間の大会を無事に終えることが出来ましたことに、改めて札母連の団結力と底力を実感した大会になりました。

さらにこの大会最終日、全国からの参加者をお見送りし、会場に戻ってみると、そこには参加してくれた札母連会員さん全員が、整然と待っていてくれたのです。

私は、その一体感と感謝と感激で胸がいっぱいになり言葉にならなかったことを今も鮮明に思い出します。この全国大会での経験は、4 年後（平成 22 年）の東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会開催地としての大きな収 穫にもなりました。

また、平成 25 年 4 月には、公益法人制度の抜本的改革により札母連も社団法人から公益社団法人へと移行してはや 12 年が経過しました。

目まぐるしく変化する時代の流れとともに、福祉分野をめぐる課題も一段と多様化、複雑化し、団体としても支援 すべき対象がますます広がりつつあるように思います。

このような時代背景の中で、生きづらさや、困っていることを自ら声に出して問題提起する、みんなで訴えるという主体性がますます必要な時代と思います。

かつて「さっぽろ・まなトピア」はそんなお母さんたちの切実な声を受けて実現した事業です。現在、私も立ち上げから関わったご縁で「さっぽろ・まなトピア」のスタッフとして子ども達からパワーをもらいながら、若いお母さんたちのサポーターとして少しでもお役に立てたらと思いお手伝いしています。

結びとなりますが、創立 70 周年の節目にあたり、仲間の輪がより広く、より長く繋がっていくことを願ってお祝いの言葉といたします。

創立70周年記念に思う

東区母子寡婦福祉連合会
貫　文子

1954年に札幌で産声を上げ、現在の（公社）札幌市母子寡婦福祉連合会が確立され進化するなか、70周 年を皆さまと共に迎えられることに感謝と喜びを感じています。

私は二男の小学校入学祝い会に参加した事がきっかけで入会し40年が経過していますが、「我が幸は我が 手で」のポジティブな精神に魅せられて現在も活動しています。

札母連は時代の環境の変化に合わせながら委託事業を展開し、雇用の場を拡大していきました。そしてまた 必要に応じて就業支援の講習会を開催し、多くの就労につなげています。そんな中で子育て支援の一環として北海道大学教授の力をお借りして、平成22年6月「さっぽろ・まなトピア」が母子寡婦福祉センターの一室で開講されました。無料塾で小4～中3の子供が対象。ボランティア講師として年令の近い北大生が関わるなど、まさに子育て中の親だれしもが望んでいたものでした。しかし全市内に一カ所。センターへは遠いし、親も働いていればつきそえない。往復運賃もかかる。その頃の私は東区母連会長をしていましたので、東区の子達にも何とか気軽に体験させられないか考えました。そう、せめて一区に一教室あったらこのもやもやは晴れる。その年の夏、各区母連会長に声を掛けたところ、思いは皆同じだったようです。そして平成23年、白石区、西区、北区、東区、清田区で独自に開講。さらに翌年手稲区へと広がっていきました。

この3年間の活動に注目して北海道新聞が度々取材、報道をしてくれたお陰？もあり札幌市ひとり親家庭学習支援ボランティア事業として札母連が平成25年10月から委託出来たことはこの上ない喜びとそして各区に声掛けした責任もあり、心から安堵した次第です。

各区の力を集結したこの活動が札母連の一大事業として11年が経過しました。母子寡婦の団体だからこそ、就労者や高齢者が連携を密に取り合い運営に携わっています。会員一人一人の顔がみえる単位会が集まった区母連、そして各区の力が結集した札母連へと80周年否、100周年に向かって大河となって発展して行くことを心より願っています。

創立70周年を祝して

白石区母子寡婦福祉連合会
熊　谷　智恵子

札幌市母子寡婦福祉連合会が創立 70 周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昭和 29 年の発足以来、歴代会長始め諸先輩方、会員の皆さん、そして私たちを支え続けて頂いた行政、関係機関の皆様のご指導・ご鞭撻をいただきお蔭様で今日あるものと深く感謝申し上げます。昭和 55 年 4 月、縁あって札母連の事務局に入社させていただきました。入社当時は 3 人の子育てと、仕事を両立させることの難しさを感じながらも、平成 16 年 4 月に 24 年間務めて無事に定年退職することが出来ました。楽しかった事も苦労した事も、今となっては懐かしい思い出です。

札母連を定年退職してからは、白石区母連の単位会長に就任させていただき、平成 22 年からは区の会長と札母連の理事を 10 年間務めさせていただきました。

平成 22 年に札母連が学習塾を始めましたことをきっかけに、白石区の会員の皆様から白石区にも是非とも学習塾をはじめてほしいとの強い要望があり、7 単位会長が協力しあい、平成 23 年 7 月白石区の「学習塾まなトピア」が スタートし、今年で 13 年目を迎えることが出来ました。

ボランティアで参加していただいている講師の先生方の熱心な授業には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今では「学習塾まなトピア」は札母連、札幌市のお陰で 10 区母連すべてに定着し順調に運営されております。これからも、まなトピアを通じて、「会員全員」で知恵を出し合い、お互い助け合う気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。

終わりに会のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

札母連だより

127号

128号

129号

133号

134号

135号

新年特別号

139号

140号

130号

131号

132号

136号

137号

138号

141号

142号

143号

2015
（平成27年度）

母子一泊研修

と　き：7月18日（土）～19日（日）
ところ：国立日高青少年自然の家

ラフティングは最高!!

火おこしは子どもたちだけでがんばりました

夜はキャンプファイヤーと花火で楽しみました

クリスマス会

と　き：12月23日（水）祝日
ところ：社会福祉総合センター

サンタさんと一緒にはいチーズ!!

まなトピア意見交換会

と　き：2月7日（日）
ところ：ひとり親家庭支援センター

札母連研修会

と　き：2月11日（木）
ところ：社会福祉総合センター

ふれあい交流バスレク

と　き：9月20日（日）
ところ：ガトーキングダムサッポロ

たくさんのお友達と
遊んで楽しかったよ

2015
（平成27年度）

寡婦一泊研修

と　き：10月17日（土）～18日（日）
ところ：湯の川温泉　ホテル万惣

絶好の旅行日和
晴れ女がいっぱーい

五稜郭タワーからの景色

函館のマンホールは
イカです

母子一泊研修

と　き：1月7日（土）～8日（日）
ところ：国立日高青少年自然の家

2016
（平成28年度）

奨学金贈呈式

と　き：6月22日（水）
ところ：札幌市社会福祉総合センター4階大研修

❖ 奨学金贈呈 ❖ 合計 170 名
北海道新聞社会福祉振興基金奨学金（52 名）北洋銀行奨学金（25 名）
札幌信用金庫社会福祉基金奨学金（25 名）　北海道 CGC みどりとこころの基金（40 名）
札幌市母子寡婦福祉連合会奨学金（28 名）

スポーツ大会

と　き：6月26日（日）
ところ：中央区民センター

ふれあい交流バスレク

と　き：7月31日（日）
ところ：ガトーキングダムサッポロ

2016
（平成28年度）

収穫体験

と　き：9月4日（日）
ところ：あいの里農園

寡婦一泊研修

と　き：1班:10月1日（土）~2日（日）2班:2日（日）~3日（月）
ところ：ニセコ昆布温泉ホテル甘露の森

ホテルのロビーでは生演奏も披露されていました

羊蹄山もお出迎え

小樽ワイン工場でワインを試飲

第61回 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

と　き：9月30日(土)・10月1日(日)
ところ：ガトーキングダムサッポロ

1日目

2017
(平成29年度)

札幌駅北口 案内

受　付

理事長 あいさつ

開会式

研修討議

交流会カンパイ！

交流会オープニング札幌本陣太鼓の皆さん

北海盆踊り

2日目

オープニングは、札幌ジュニアジャズスクールの演奏

講演 中田美知子氏

今日の日はさようなら♪
また会う日まで♫

お揃いＴシャツでお手伝い、お疲れ様でした

閉会後 みんなでお見送り

2017
(平成29年度)

バスレクinおたる水族館

と　き：6月24日（日）

イルカショー楽しかった～

2018
（平成30年度）

寡婦一泊旅行

と　き：9月29日（土）～30日（日）
ところ：美唄市 青の洞窟温泉ピパの湯 ゆ～りん館

宝水ワイナリーでぶどうを見学

ホテルの前で記念写真

アルテピアッツア美唄

ふれあいファームしのつでは
野菜のお土産たくさん買いました

札母連研修会

と　き：2月17日（日）
ところ：WEST19 5階講堂

2018年（平成30年）9月6日3時7分頃、「平成30年北海道胆振東部地震」が起きました。胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生し、この地震では、北海道では初となる震度7を厚真町で観測したほか、札幌市内でも震度6弱を観測するなど道内の広い範囲で震度4以上の強い揺れを観測しました。

この地震で43人が死亡、782人が負傷。家屋被害は、厚真町で発生した大規模な土砂崩れや札幌市で発生した液状化現象の影響などで約16,000棟にのぼりました。

また、厚真町には、北海道最大の火力発電所で、道内の電力需要全体の約半分を担う苫東厚真火力発電所があり、この地震の影響で緊急停止しました。またこの影響により、道内のほぼ全域に当たる約295万軒で大規模な停電（ブラックアウト）が発生しました。電力会社の管轄区域のほぼ全域が停電するのは初めての事態で、市民生活や経済活動にも大きな影響が生じました。

札母連ではこの年度の研修会で、札幌市危機管理対策室の長谷川課長にこの地震の経験を踏まえ、「風水害・地震等の備え」と題して講演をいただき、熱心に聴講しました。

モデルロケット制作・打ち上げ体験

と　き：3月2日（土）
ところ：赤平市共和町 植松電機

2019
(平成31年度)
(令和元年度)

母子一泊旅行

と　き：7月27日(土)~29日(日)
ところ：国立大雪青少年交流の家

寡婦一泊旅行

と　き：9月28日(土)~29日(日)
ところ：はぼろ温泉サンセットプラザ

クリスマス会

と　き：12月15日(日)
ところ：社会福祉総合センター

サンタさんプレゼントありがとう

サンタさんと記念にハイポーズ

カード作りも楽しかった

コロナウィルス感染拡大（緊急事態宣言）

2020年1月中国武漢市を中心に新型コロナウィルス感染症が拡大、2月には国内感染者が増加し、4月には緊急事態宣言が発出され、外出自粛、イベントの中止など、社会生活に大きな制限がかけられました。

2021年2月からワクチン接種も始まり、感染者数は徐々に減少傾向となりましたが、2021年後半デルタ株、オミクロン株など感染力の強い変異株が出現し、感染者数が再び増加。行動制限の緩和と感染拡大の繰り返しとなる状況が繰り返されました。
世界的にみても感染者は3億人を超えるパンデミックとなりました。

2023年5月に新型コロナウィルスはインフルエンザと同等の「5類感染症」に移行し、医療機関での診療・治療の対応へと移行しましたが、いまだに感染は続いており、脅威は去ったわけではありません。

札母連ではこの間その時々の状況により三密を伴う集会や行事を中止し、マスク着用や手洗い、うがいを励行するなど、大きな行動制限を伴いながら活動してまいりました。その中で、理事会やまなトピアなどにリモートを活用したり、たくさんの寄付寄贈が寄せられたりしたので、中止したクリスマス会に代わって、自宅までサンタさんのプレゼントを届けたり、コロナ禍で外出できない子どもたちに、お菓子や文房具を送ったりと、状況に応じた方法で活動を行いました。

理事会は、ZOOM開催

さっぽろ夏まつり大通ビアガーデン

と　き：7月22日(金)~8月17日(水)
ところ：大通西8丁目

2022
(令和4年度)

利用時間制限や消毒・マスク着用などの
感染対策を行いながら3年ぶりの開催

オープニングセレモニー

ふれあい交流レク

と　き：7月31日（日）
ところ：円山動物園

夏休み応援プロジェクト

Amazon「みんなで応援」プログラムの支援を受けコロナ禍の中、
頑張っている子ども達へ、夏休みを元気に過ごしてもらいたく、
お菓子や文具などを贈りました

2022
（令和4年度）

札幌サンタプロジェクト
クリスマスプレゼント送付

コロナ感染拡大による令和４年度開催予定「クリスマス会」中止にともない、
サンタさんより、146 名のお子様のご自宅へ、
クリスマスプレゼントが届けられました。

定期総会

と　き：5月24日（木）
ところ：社会福祉総合センター大研修室

2023
（令和5年度）

育樹研修

と　き：6月17日（土）
ところ：茨戸川緑地

ノコギリや剪定はさみで実際に樹木を切り取る作業を教えてもらいました。

協力してみんなで運びました

ふれあい交流レク

と　き：7月30日（日）
ところ：北大博物館

カフランチ

と　き：10月1日（日）
ところ：鶴雅ビュッフェダイニング札幌

楽しんでま～す！

コロナ禍が明けて久しぶりに集まった懐かしい顔・・・みなさん元気!! あっという間のランチ会でした。

ロードスター札幌サンタドライブ

と　き：10月15日（日）
ところ：一乗山北海寺

オープンカーで街をドライブ♪ 街の人と手を振り合い、
楽しいひと時を過ごしました。

第68回 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

と　き：9月7日（土）　ところ：カナモトホール

受　付

2024
（令和6年度）

主催者あいさつ

札母連理事長　前原恭子

全母子協副理事長　栗橋幸子

オープニング演奏

母に幸あれの言葉

来賓あいさつ

札幌市子ども未来局
局長　佐藤 学様

札幌市議会
副議長　しのだ江里子様

プログラム

受　付　10:00～12:00

1. オープニング演奏 ―――― (12:30～12:50)
札幌第1ミュージックアンサンブル

2. 開会式 ―――― (13:00～13:30)
開会の辞
歌　唱
「母に寄せる」唱歌
主催者挨拶　社団法人 北海道母子福祉連合協議会
一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会理事長
来賓祝辞　札幌市長
札幌市議会議長
来賓紹介
祝電披露

3. 行政説明 ―――― (13:30～14:00)
こどもまんなか応援サポートプラン　講演概要　行政 佐藤 氏

4. 東北・北海道地区母子寡婦福祉 ―――― (14:30～15:00)

・・・・・休　憩・・・・・

5. 研修分科会 ―――― (15:15～17:15)
コーディネーター　北海道大学大学院教育学研究院　准教授 佐々 伊藤 氏
テーマ　① 自動ケラ ロス、ひとり親家庭
② 未来へつなぐ、母代の輪
③ すべてはこどもたちのために

6. 母子福祉功績者表彰 ―――― (17:15～17:25)

7. 大会宣言・決議 ―――― (17:25～17:45)

8. 閉会式 ―――― (17:45～18:00)
次期開催地挨拶　青森県知事代理
閉会のことば
フィナーレ　【子どもの頃はよくうたった】唱歌
（終　了）

行政説明

研修討論

コーディネーター
北海道大学大学院教育学研究院
名誉教授 松本 伊智朗 氏

2024
（令和6年度）

助言者

提言者

母子部長会議報告

今日の日はさようなら♪

第68回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

宣　言

決 議 事 項

創立 70 周年記念式典

と　き：2月2日(日)
ところ：札幌市社会福祉総合センター

理事長　前原 恭子

2024
(令和6年度)

札幌市長　秋元 克広 様

副理事長　伊藤 千登世

札幌市社会福祉協議会会長　梶井 祥子 様

常務理事　清江 眞紀

副理事長　河部 孝子

札幌市議会副議長　しのだ 江里子 様

札幌市優良ひとり親家庭等被表彰

庄武 美加子（中央区）黒澤 由佳（東区）
佐藤 友美（白石区）藤井 亜矢子（西区）
鈴木 香織（手稲区）

佐藤 友美（白石区）

札幌市母子寡婦福祉連合会理事長表彰

山本 紀義（元監事）

熊谷 智恵子（白石区）

記念講演

演題　「りゅうのめのなみだ」「桐壺（源氏物語より）」
講師　ろうどく むべの花　代表　宮下 郁子氏

＜プロフィール＞

約20年前朗読の世界に出会い、ボランティアを主体とした活動等を通じて独学を続けながら、北海道教育委員会社会教育委員として各教育現場で講師等を勤めてきました

2009年 京都「古典の日」記念朗読コンテスト京都府知事賞受賞
2012年・2013年 関西朗読コンテスト奨励賞受賞
2014年 京都「古典の日」記念朗読コンテスト大賞受賞
元札幌医科大学保健医療学部特別講師
道新文化センター朗読講師
ドラマティックリーディンググループ『蔵』所属

札幌市母子寡婦福祉連合会のあゆみ

1950 昭和25年

●全未協結成大会
●第1回東北ブロック母子福祉大会
福島県

1954 昭和29年

4月 ▽札幌市母子くらしの会発足 会長 梅田幸子

1955 昭和30年

4月 ▽西母子会発足 会長 西岡昌枝
▽手稲母子会発足 会長 土門京
▽山鼻母子会発足 会長 加藤はぎ
9月 ▽大通母子会発足 会長 伊藤松子
・第9回国体に売店開業(母子くらしの会)
・中島野球場売店(母子くらしの会)
11月●北海道母子福祉連合会結成

1957 昭和32年

3月 ▽つくし福祉会発足 会長 榊原延子

1958 昭和33年

4月 ▽白石母子会発足 会長 岸チエ

1959 昭和34年

▼札幌市母子福祉連合会結成 会長 伊藤松子
・札幌市卸売市場内にたばこ売店開業
2月 ▽豊平母子会発足 会長 山部アサノ
4月 ▽東母子会発足 会長 本間とき

1961 昭和36年

4月 ▽鉄西母子会発足 会長 今井静子

1962 昭和37年

▽北東母子会発足 会長 藤田アイ

1963 昭和38年

▽幌西母子会発足 会長 早瀬文

1971 昭和46年

6月 ●全道母子福祉大会 羽幌町
8月 ・札幌市母子福祉研究集会 道母子センター
9月 ・母と子の一泊温泉旅行 定山渓ホテル
・札幌市役所本庁舎清掃業務受託(11階-19階)
10月●東北・北海道ブロック研修会 福島県
12月 ・札幌市役所本庁舎内にたばこ自販機設置
▽月寒母子会発足 会長 柳田サダ子
●全国母子福祉研究集会

1970 昭和45年

2月 ・社団法人格認可を受ける
8月 ・札母連だより創刊号発行
・札幌市母子福祉研究集会
9月 ●東北・北海道ブロック研修会 洞爺湖
10月・札母連お母さん研修旅行 伊達太陽の国
▽めぐみ荘母子会発足 会長 森山ハル
▽みすまい母子会発足

1969 昭和44年

4月 ・北海タイムス優良お母さん表彰式
6月 ・社団法人札幌市母子福祉連合会設立のための総会
8月 ・札樽石狩ブロック研修会 札幌市
9月 ・札母連定例レクリエーション 定山渓鹿の湯
・札母連研究集会 中央バスターミナル

1968 昭和43年

4月 ・札母連母子福祉大会
・一日温泉旅行
1月 ▽発寒母子会発足 会長 島田きくえ
▽愛隣館母子会発足 会長 加藤静枝
▽青葉母子会発足 会長 黒森かづ子

1967 昭和42年

・ ・道新主催により入学卒業祝会実施
・ ・一日温泉旅行実施(母子家庭慰安会)
・ ・東北北海道ブロック母子福祉会議 3名参加
・ ・全国母子福祉大会 3名参加
・ ・札母連母子福祉大会

1966 昭和41年

1月 ●北海道母子福祉センター竣工
8月 ▽西岡母子会発足 会長 長谷山ミサオ

1965 昭和40年

9月 ▽東札幌母子会発足 会長 土肥キヨ
▽東白石母子会発足 会長 岸チエ
10月▽中の島母子会発足 会長 浅見恭子
11月●道母連結成10周年記念全道大会 室蘭市

1972 昭和47年

4月 ・札幌市児童相談所清掃及び調理業務受託
▽新川母子会発足 会長 藤本ハナヨ
6月 ●全道母子福祉大会 伊達市
7月 ・札幌市身体障害者更正相談所清掃業務受託
9月 ・母子家庭一泊温泉旅行 定山渓ホテル
●東北・北海道ブロック研修会 宮城県
12月●全国母子福祉研究集会
・札幌市母子家庭生活資金等貸付業務受託

1973 昭和48年

4月 ・母子家庭及び寡婦自立促進対策事業受託開始
6月 ●全道母子福祉大会 富良野市
7月 ・札幌市母子福祉研究集会 道母子センター
「母子家庭の母としての教養について」
9月 ・母子家庭レクリエーション 定山渓ホテル
●東北・北海道ブロック研修会 岩手県
11月●全国母子福祉研究集会
12月▽山口東母子会発足 会長 岡崎三好
▽あかしや母子会発足 会長 三浦チヨ
▽藻岩母子会発足 会長 柴崎秋枝
▽川沿こだま会発足 会長 梅山成子

1974 昭和49年

5月 ▽琴似母子会発足 会長
6月 ●全道母子福祉大会 滝川市
9月 ▼西区母子福祉連合会発足
10月 ・札幌市母子福祉研究集会 道母子センター
「未加入母子家庭とのつながりを深めよう」
11月 ・札幌市優良母子家庭寡婦表彰 札幌市長室
・道営競馬に於ける貸布団を道母より受託
・母子家庭及び寡婦自立促進対策事業
和裁講習会2回開始 札幌服飾アカデミー
●全国母子福祉研究集会
12月▽しらぎく母子会発足 会長 羽田信子

1975 昭和50年

3月 ▼南区母子福祉連合会発足
4月 ●道母連結成20周年記念全道大会・江差町
6月 ▽西野母子会発足 会長 豊岡美瑳
7月 ・中央卸売市場内売店打切り8月より委託する
8月 ▼白石区母子福祉連合会発足
10月●東北・北海道ブロック研修会 山形県
・札母連研究集会 愛育乳児保育所
・札幌市役所給茶業務受託
・道営競馬に於ける売店を道母より受託
▼中央区母子福祉連合会発足
12月▼東区母子福祉連合会発足

1976 昭和51年

1月 ▼北区母子福祉連合会発足
▽新琴似母子会発足 会長 中沢光子
▽ともしび会発足 会長 中西道子
▽もみじ台母子会発足 会長 中川千代子
4月 ▽澄川母子会発足 会長 谷坂マサ
6月 ●全道母子福祉大会 稚内市
10月●第20回東北・北海道地区研修会議 秋田県
・札幌市母子福祉研修大会 道教育会館
・母子家庭介護人派遣事業受託開始
▼豊平区母子福祉連合会発足
▽北地区母子会発足 会長 柿崎綾子
▽麦の会発足 会長 高田悦子
11月●全国母子寡婦福祉研究大会

1980 昭和55年

1月 ・新年のつどいに市長より新5ヵ年計画の中で
「婦人文化センター」の中に母子福祉団体の
拠点を おくことが決定の発表
・ ▽道の会発足 会長 米田直江
・ ▽山びこ会発足 会長 岡部ふみ子
・ ▽東発寒母子会発足 会長 猪股美代子
・ ▽篠路母子会発足 会長 小野寺恵子
・ ▽手稲東母子会発足 会長 大塚英子
6月 ●北海道母子福祉連合会結成25周年記念大会
8月 ・札母連清掃事業10周年記念式典開催 石狩会館
9月 第21回札幌石狩ブロック及び
第4回札幌市母子福祉大会 教育文化会館
●第24回東北・北海道地区研修会議 岩手県
10月 ・札母連和裁研究所開設について札幌市へ
運営概要書提出

1979 昭和54年

1月 ▽真駒内ポプラ会発足 会長 対馬キミ
3月 ・第1回働くお母さんのための講座
▽幌北母子会発足 会長 古井静子
▽屯田母子会発足 会長 山下キミ子
4月 ▽母樹の会発足 会長 武田那智子
6月 ●全道母子福祉大会 美唄市
8月 ・第3回札幌市母子福祉大会 道立社会福祉総合センター
・札幌市肢体不自由児母子訓練センター 清掃業務受託
6月 ●第23回東北・北海道地区研修会議 宮城県
11月●全国母子寡婦福祉研究大会
12月 ・札幌市中央卸売市場青果売店・地場菜売店開業

1978 昭和53年

4月 ・母子福祉奨学金の助成につき北海道新聞
社福祉基金へ請願書提出
・単身寡婦介護人派遣事業開始(自主事業)
6月 ●全道母子福祉大会 北見市
8月 ・第2回札幌市母子福祉大会 市教育会館
9月 ●第22回東北・北海道地区研修会議 福島県
10月 ・寡婦福祉法早期実施署名運動開始
11月 ・ふれあい広場さっぽろ清掃業務受託
●全国母子寡婦福祉研究大会

1977 昭和52年

4月 ・札幌市夏まつり協賛奨学基金造成事業開始
・母子家庭及び寡婦自立促進対策事業
5月 ▽栄母子会発足 会長 杉山きぬ
8月 ・第1回札幌市母子福祉大会 道教育会館
10月●第21回東北ブロック母子福祉研修会 北海道
11月●全国母子寡婦福祉研究大会

1981 昭和56年

6月 ・札幌市福祉部と第1回「婦人文化センター」準備委員会
●全道母子寡婦福祉大会 釧路市
7月 ・第1回札母連奨学金贈呈式 10名に贈呈 教育文化会館
・第2回「婦人文化センター」準備委員会
●母子及び寡婦福祉法成立記念式典
8月 ・第5回札幌市母子福祉大会 中央区民センター
11月 ・札母連事務局市庁舎より婦人文化センターへ移転
●全国母子寡婦福祉大会
12月 ・札母連自立促進和裁研究所開所式 婦人文化センター
・札母連清掃事業に主任制導入
・札幌市婦人文化センター清掃事業受託

1982 昭和57年

2月 ・第1回札幌ブロック研修会 婦人文化センター
▽豊平東母子会発足 会長 山川淳子
▽美園母子会発足 会長 梶本末子
▽福住母子会発足 会長 中川潤子
3月 ・札幌市西岡図書館児童会館清掃業務受託
▽藍の会発足 会長 下山ミヨ
▽双葉会発足 会長 中西道子
8月 ・第6回札幌市母子福祉大会
●第26回東北・北海道地区研修会議 山形県
10月 ・父子家庭介護人派遣事業委託開始
11月●30周年記念全国母子寡婦福祉大会 東京都
12月 ・札幌市西老人福祉センター清掃業務受託

1983 昭和58年

2月 ・第2回札幌ブロック研修会
▽若葉会発足 会長 村田きみ
▽雑草会発足 会長 伊藤盛子
▽北郷歩む会発足 会長 曽田朝子
▽菊水ひまわり会発足 会長 寺岡テイ子
▽前田母子会発足 会長 川島澄子
6月 ●全道母子寡婦福祉大会 函館市
・母子及び父子家庭札母連
ファミリーサービス事業開始
▽平岸すずらん会発足 会長 根本小百合
8月 ・第7回札幌市母子福祉大会
9月 ●全国母子寡婦福祉研究大会 大阪市
10月●第27回東北・北海道地区研修会議 秋田県

1984 昭和59年

2月 ・札幌市母子家庭研修会
「これからの母子福祉と私たち」
3月 ●第29回全国母子寡婦家庭指導者研修会
社団法人北海道母子寡婦福祉連合会から分離を決定
▽麻の実会発足 会長 佐藤芳枝
▽南発寒母子会発足 会長 大熊洋子
▽たんぽぽ会発足 会長 森山実枝子
▽太平母子会発足 会長 間山昌子
▽虹の会発足 会長 森田房子
4月 ・社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会と改称
・財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会へ加入
6月 ●北海道母子寡婦福祉大会 江別市
▽竹の子会発足 会長 柴田和子
7月 ▽こぶし会発会式
・札幌市里塚斎場清掃業務受託、喫茶・売店業務開始
▽清田母子会発足 会長 野口暁
8月 ・創立30周年記念大会 共済ホール
10月●第28回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会

1988 昭和63年

2月 ▽篠路つくし会発足 会長 手賀ナミ
▽ききょうの会発足 会長 山本兆子
▽菊水いずみ会発足 会長 栁山成子
3月 ●第33回全国母子寡婦家庭指導者研修会
4月 ▽やまぶき会発足 会長 清水満里子
6月 ●第29回北海道母子寡婦福祉大会 岩見沢市
8月 ・第32回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 北海道厚生年金会館
10月●第38回全国母子寡婦福祉大会 東京都

1987 昭和62年

3月 ・札幌市母子家庭寡婦研修会
「今、母子連に求められるものは?」
-未加入対策と情報の交流-
・札幌市西岡福住地区センター清掃業務受託
▽彩の会発足 会長 上野美江子
・西岡・福住地区センター清掃業務受託
4月 ▽せせらぎ会発足 会長 対馬キミ
8月 ・母と子の一泊旅行 洞爺湖観光ホテル
・第10回札幌市母子寡婦福祉大会
●第31回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 岩手県
10月●第37回全国母子寡婦福祉大会 東京都

1986 昭和61年

2月 ・札幌市母子家庭寡婦研修会 ヤサカ「社会と家族」
4月 ▽しらかば会発足 会長 土田ミサオ
5月 ▽桑の実会発足 会長 高田悦子
6月 ●北海道母子寡婦福祉大会 名寄市
7月 ・母と子の一泊旅行 洞爺湖サンレイク
▽クローバー会発足 会長 根本小百合
8月 ・第9回札幌市母子寡婦福祉大会
・「会員の就労に対する実態調査」実施
9月 ・札幌サンプラザペットメイク・客室清掃業務受託
●第30回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 宮城県
10月 ・清掃事業15周年記念式典 札幌サンプラザ
11月 ・札幌市麻生総合センター清掃業務受託
●第30回全国母子寡婦福祉大会 東京都

1985 昭和60年

3月 ▽新琴似母子会発足 会長 高橋治子
5月 ▽新川すみれ会発足 会長 佐野ミネ子
▽新川リラの会発足 会長 若林江美子
6月 ●北海道母子寡婦福祉連合会30周年記念大会 苫小牧市
8月 ・第8回札幌市母子寡婦福祉大会
9月 ・第1回札幌市母子家庭大運動会 二条小学校
●第29回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 福島市
11月●全国母子寡婦福祉大会 東京都

1989 令和元年

2月　・札幌市母子家庭寡婦研修会
3月　●第34回全国母子家庭寡婦指導者研修会 熱海市
4月　・札幌市社会福祉総合センター清掃業務受託
5月　▽川下あゆむ会発足 会長 伊藤弘子
　　・札幌市婦人文化センターより
　　札幌市社会福祉総合センター内に事務局移転
6月　・札幌市母子寡婦福祉センター開設
　　▽楡の会発足 会長 佐藤フミ
　　・北海道新聞社会福祉振興基金2名受給者増
8月　・母と子の一泊旅行 ニセコ高原
　　・札母連創立35周年並びに母子寡婦福祉センター
　　開設記念第11回札幌市母子寡婦福祉大会
　　●第30回北海道母子寡婦福祉大会 紋別市
　　●第33回東北・北海道地区
　　母子寡婦福祉研究集会 青森県
9月　・平岸プールに飲料水の自販機2台設置
10月●第39回全国母子寡婦福祉大会 東京都

1990 平成2年

2月　・母子家庭寡婦研修会
　　「自分にとって母子会とは何か」
6月　・札母連春の研修会
　　「国際化社会を生きるために」
7月　・母と子の一泊旅行 ニセコ高原
　　●北海道母子寡婦福祉記念大会 旭川市
8月　・第12回札幌市母子寡婦福祉大会
　　●第34回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 山形県
10月・母子家庭寡婦大研修会
　　「母子寡婦福祉の現状と展望」
　　▽伏古友和会発足 会長 星野洋子
　　●創立40周年記念全国母子寡婦福祉大会 東京都
11月・清掃事業20周年並びに中央卸売市場売店10周年
　　記念式 札幌サンプラザ
　　▽新琴似輪の会発足 会長 長谷恵子

1991 平成3年

2月　・寡婦の一泊旅行 登別温泉
3月　▼手稲区母子寡婦福祉連合会発足
　　▼厚別区母子寡婦福祉連合会発足
　　▽福コスモス会発足 会長 市村央子
　　▽弥生会発足 会長 谷慧子
　　▽未希の会発足 会長 末永智子
4月　・札幌市手稲老人福祉センター清掃業務受託
　　▽稲山母子会発足 会長 川島澄子
　　▽星置母子会発足 会長 山形光子
　　▽杉の子会発足 会長 貴文子
　　▽青葉母子会発足 会長 森川広美
5月　▽円山こだま会発足 会長 渡辺啓子
　　▽あすなろ会発足 会長 森岡弘子
　　▽南もみじ母子会発足 会長 古賀洋子
6月　札母連研修会 「組織における豊かな人間関係」
　　-会議のあり方、受けとめ方-
　　●第32回北海道母子寡婦福祉大会 弟子屈町
7月　・母と子の一泊旅行 洞爺湖温泉
8月　・第13回札幌市母子寡婦福祉大会
10月・母子家庭寡婦大研修会 「青少年の健全育成を考える」
　　-就労と子育ての間で-
11月●全国母子寡婦福祉大会 東京都

1994 平成6年

2月 ・寡婦の一泊旅行 洞爺湖温泉
6月 ・札母連奨学金贈呈式 受給者増加
北海道新聞社会福祉振興基金 15名
7月 ・札母連研修会 「しっかり学ぼう母子寡婦福祉法」
-ひとりの意識が組織を変える 地域への参加-
・母と子の一泊旅行 登別温泉マリンパーク
・さつき会発足 会長 峯吉節子
8月 ・創立40周年記念大会 共済ホール
10月 ●第38回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 宮城県
・札幌市母子家庭寡婦大研修会 「介護-心を読む」
●日本女性会議'94わかやま 和歌山市
●全国母子寡婦指導者研修大会 沖縄県

1992 平成4年

2月 ・和裁研究所開設10周年記念針供養
・寡婦の一泊旅行 小樽
3月 ●37回全国母子寡婦家庭指導者研修会 東京都
▽川沿タンポポ会発足 会長 小村乙美
4月 ・札幌市青少年センターの清掃業務受託
6月 ・札母連研修会 「新しい団体運営のすすめ方」
7月 ・母と子の一泊旅行 ニセコ・ポテト共和国
9月 ●第36回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会
10月 母子家庭寡婦大研修会 「介護-その理論と実践」
▽平岡母子会発足 会長 松原留美子
▽北野母子会発足 会長 日比栄子
▽里塚母子会発足 会長 海老原貞子

1995 平成7年

2月 ●全国母子寡婦福祉幹部養成研修会 東京都
3月 ▽せきれい会 会長 木村敏子
▽のぞみ会 会長 宮田典子
▽もみのき会 会長 熊谷智恵子
・札幌市保健医療部分室清掃業務受託
・札幌市東老人福祉センター清掃業務受託
7月 ・札母連研修会 「学ぶことの大切さ」
-活かそうみんなの声を-
・母と子の一泊旅行 登別マリンパーク
8月 ・第16回札幌市母子寡婦福祉大会
9月 ●全国母子寡婦指導者研修大会 石川県金沢市
●第39回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 岩手県
10月 ・第1回札幌市母子家庭スポーツ大会 万生公園
・寡婦の一泊旅行 岩内
●日本女性会議'95にいがた 新潟県新潟市

1993 平成5年

2月 ・寡婦の一泊旅行 天人峡温泉
▽カトレア会発足 会長 小野寺トシ子
7月 ・札母連研修会 「今、この団体に求めるもの」
-社会変化の中でどう生きていますか-
・母と子の一泊旅行 ニセコ・ポテト共和国
●第34回北海道母子寡婦福祉大会 千歳市
8月 ・第15回札幌市母子寡婦福祉大会
●第37回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 福島県
●全国母子寡婦家庭指導者研修大会 大津市
10月 母子家庭寡婦大研修会
「介護-その理論と実践」
12月 ・札幌市児童福祉総合センター清掃業務受託
・札幌市児童福祉総合センターに飲料水の
自販機1台設置

1996 平成8年

2月 ・札母連研修会 「見よう・聞こう・話そう
-みんなで語ろう私たちの課題」

●第1回全国母子リーダー研修会 東京都
6月 ・新規奨学金「じょうてつ育英資金」5名分増
7月 ・母と子の一泊旅行 夕張石炭の歴史村
8月 ・第40回東北・北海道地区母子寡婦福祉
研究集会 北海道(札幌市定山渓)
・寡婦の一泊旅行 定山渓
10月●日本女性会議'96うつのみや 栃木県宇都宮市
▽清田コスモス会 会長 保苅尚子
11月●全国母子寡婦指導者研修大会 広島県広島市
12月●北海道母子福祉センターの落成祝賀会

1997 平成9年

2月 ・札母連研修会
「あらたな視点に向かって歩き出そう
-21世紀にむけ今後の展望を考える」
▽西もみじ会 会長 寺沢順子
3月 ▽新川まりも会 会長 米村幸子
▽未来の会 会長 大野淳子
▽みどり会 会長 伏木恭子
▽白石南会 会長 古屋純子
6月 ●北海道母子寡婦福祉大会 登別市
7月 ・母と子の一泊旅行 浜益村青少年海の家
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会 女性センター
▽美しが丘会 会長 谷畑多恵子
●第41回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 青森県
10月●日本女性会議'97おかやま 岡山県
11月●全国母子寡婦指導者研修大会 東京都
●児童福祉法制定50周年記念全国母子寡婦福祉大会
▽川沿すずらん会 会長 窪田喜代子
・寡婦の一泊旅行 北の京芦別
▼札幌市の分区に伴い
「札幌市清田区母子寡婦福祉連合会」誕生

1998 平成10年

2月 ・札母連研修会
「エネルギッシュに生きよう 力をあわせて」
-母子の柱&寡婦の柱-
3月 ●全国役員研修会 東京都
▽平岸四ツ葉会 会長 花島すえ子
▽碧会 会長 阿部孝子
6月 ●北海道母子寡婦福祉大会 小樽市
7月 ・母と子の一泊旅行 ニセコ方面
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
10月●日本女性会議'98あまがさき 尼崎市
▽中央ひまわり会 会長 五十嵐順子
・休日託児「ほりでーまむ」事業開始
11月 ・寡婦の一泊旅行 室蘭・登別方面
●全国母子寡婦指導者研修大会 宮城県仙台市
12月 ・札幌市役所8階、9階の清掃業務受託
地下2階から8階までの給茶業務受託

1999 平成11年

2月 ・札母連研修会
「家族とは?」 -母子の柱&寡婦の柱-
4月 ・清田老人福祉センター清掃業務受託
5月 ▽信濃会 会長 山上八重子
7月 ・母と子の一泊旅行 洞爺・室蘭方面
8月 ●北海道母子寡婦福祉大会 留萌市
・札幌市母子寡婦福祉大会
9月 ●全国母子部長会議 東京都
●第43回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 山形県
10月●日本女性会議'99はままつ 浜松市
●全国母子寡婦指導者研修大会 香川県
11月 ・寡婦の一泊旅行 天人峡
●ひとり親家庭のための子育て支援シンポジウム 大阪市

2003 平成15年

3月 ●東北・北海道地区母子部長会議 宮城県仙台市
▽清田しらゆり会 会長 児島アキ子
7月 ・母と子の一泊旅行 定山渓
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
●第47回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 岩手県
9月 ●全国母子寡婦福祉大会 福井県
10月●日本女性会議2003おおつ 滋賀県大津市
・札幌市母子家庭等就業支援センター管理運営
業務受託・就業支援センター開設
・札母連研修会
「聴いてますか?子供の声を」
11月 ・寡婦の一泊旅行 登別

2001 平成13年

2月 ▽月寒たんぽぽ会 会長 松岡久美子
・フォーラム2001 医師会館
「わたし流の生き方-時を刻む人間の一生において」
▽あいの里JOYの会 会長 浅野涼子
7月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
8月 ・母と子の一泊旅行 砂川
・親子バスレク 砂川こどもの国
・寡婦の一泊旅行 函館市
●第45回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 函館市
9月 ●全国母子寡婦福祉大会 和歌山県高野山
●日本女性会議2001みと 水戸市
12月 ・ホームページ開設

2002 平成14年

1月 ・札母連研修会
「輝く未来に向かって-発見、私の元気色」
8月 ・母と子の一泊旅行 ニセコ・余市
9月 ・親子レクバス 砂川こどもの国
・札幌市母子寡婦福祉大会
●第46回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 福島県
10月●日本女性会議2002あおもり 青森市
●全国母子寡婦福祉大会 熊本県
・札母連研修会 「自立を目ざしてワンステップ
-これからの私のために」
11月 ・全母子協からの補助事業
「家庭養育ヘルパー養成講座」実施
・寡婦の一泊旅行 定山渓

2000 平成12年

2月 ・札母連研修会 社会福祉総合センター
「情報-さあ ネットワーキングを始めよう」
5月 ・ボランティア研修センター清掃業務受託
7月 ●北海道母子寡婦福祉大会 旭川市
・母と子の一泊旅行 砂川市
・親子バスレク 砂川こどもの国
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
9月 ・札幌市生涯学習総合センター清掃業務受託
●第44回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 秋田県
10月 ・清掃30周年・市場20周年・里塚15周年記念式典
11月 ・第6回札幌市母子家庭スポーツ大会 つどーむ
●日本女性会議2000津 津市
●創立50周年記念全国母子寡婦福祉大会 東京都
12月 ・寡婦の一泊旅行 小樽
・「無料職業紹介事業許可証」取得

2004 平成16年

1月 ・全母子協からの補助事業
「ひとり親ライフサポーター養成講習会」実施
7月 ・親子レクバス 砂川こどもの国
8月 ・母と子の一泊旅行 キロロ
・第48回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 札幌市
・創立50周年記念大会 ロイトン札幌
10月●日本女性会議2004まつやま 徳島県松山市
●全国母子部ブロック長会議
●全国母子寡婦福祉大会 広島県
11月 ・寡婦の一泊旅行 層雲峡

2005 平成17年

2月 ・札母連研修会
4月 ▽豊平区ひまわりの会
7月 ・親子レクバス 旭山動物園
・母と子の一泊旅行 ニセコ自然体験センター
9月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
・母と子のキャンプ参加 日高少年自然の家
10月●日本女性会議2005ふくい 福井県福井市
●第48回東北・北海道地区母子寡婦福祉研究集会 青森市
11月 ・寡婦の一泊旅行 ニセコ・小樽
●全国母子寡婦福祉大会 茨城県水戸市

2006 平成18年

2月 ・札母連研修会
4月 ・札幌市指定管理者
札幌市母子寡婦福祉センター管理業務受託
「札幌市しらぎく荘」管理業務受託
▽手稲ひまわり会
6月 ・母と子のキャンプ 日高少年自然の家
7月 ・親子レクバス 砂川子どもの国
・ふれあい広場清掃業務終了
・母子一泊旅行 日高少年自然の家・夕張石炭の歴史村
9月 ●第50回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 仙台市
10月●日本女性会議2006しものせき 山口県下関市
●平成18年度全国母子寡婦福祉大会 札幌市
11月 ・寡婦の一泊旅行 然別湖

2007 平成19年

4月 ・里塚斎場改修による関連事業休業(2年間)
7月 ・親子レクバス 砂川子どもの国
・母と子の一泊旅行 北湯沢ホロホロ山荘
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
「より深めよう 母子と寡婦の絆」
9月 ●第51回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 山形県
10月●日本女性会議2007ひろしま 広島県広島市
●平成19年度全国母子寡婦福祉大会 徳島県徳島市
11月 ・寡婦の一泊旅行 中央卸売市場・洞爺湖温泉

2008 平成20年

2月 ・札母連研修会
「今を大切に生きよう、未来に向かって!」
6月 ・寡婦の一泊旅行 ニセコいこいの村 小樽
7月 ・親子レクバス 砂川子どもの国
・母と子の一泊旅行 登別温泉・室蘭白鳥大橋
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
「共に歩もう母子と寡婦」
●第52回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 秋田県
10月 ・ひとり親家庭スポーツ大会
●平成20年度全国母子寡婦福祉大会 京都府京都市
●日本女性会議2008とやま 富山県富山市

2013 平成25年

2月 ・札母連研修会
4月 ・公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会となる
7月 ・母子一泊研修旅行 ルスツリゾート
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会 「母子家庭から見た子どもの貧困」
●第57回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 岩手県
9月 ・親子ふれあいバスレク 旭山動物園
10月 ・寡婦一泊研修旅行 十勝川温泉
・まなトピアが札幌市の委託事業となる
●全国母子寡婦福祉研修大会 群馬県
●日本女性会議2013あなん 徳島県阿南市

2012 平成24年

2月 ・札母連研修会 「児童虐待の現状と対応について」
5月 マリフレ会 会長 菅野ゆかり
7月 ・親子ふれあいバスレク 砂川子どもの国
・母子一泊研修旅行 ルスツリゾート
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
「母子世帯の当事者組織による
ソーシャルアクションの意義」
9月 ●第56回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 山形県
10月●全国母子寡婦福祉研修大会 山口県
●日本女性会議2012せんだい 宮城県仙台市
11月 ・寡婦一泊研修旅行 ニセコいこいの村

2011 平成23年

1月 ・札母連研修会
「つなごう人の輪 広げよう地域の輪」
7月 ・親子バスレク ひだか青少年自然の家
・札幌市母子寡婦福祉大会
「女性のくらしの困難と希望」
8月 ・母子・寡婦一泊研修旅行 北湯沢名水亭
●第55回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会
青森県青森市
10月●全国母子寡婦福祉研修大会 三重県
●日本女性会議2011まつえ 島根県松江市

2010 平成22年

2月 ・札母連研修会
「笑顔いっぱいの未来へ」
6月 ・札幌市立二条小学校清掃業務受託
・土曜学習塾「まなトピア」開講
7月 ・親子レクバス 砂川子どもの国
・母子と寡婦のふれあい一泊旅行 登別温泉
8月 ●第54回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 札幌市
10月●日本女性会議2010きょうと 京都市
●創立60周年記念全国母子寡婦福祉研修大会 東京都

2009 平成21年

2月 ・札母連研修会
「母子寡婦それぞれの人生
–おひとりさまのハッピーライフ」
3月 ・里塚斎場清掃業務受託再開・里塚斎場売店
4月 ・喫茶・そばコーナー再開
・札幌市長生園清掃業務受託
・寡婦の一泊旅行 登別温泉・えこりん村
7月 ・親子レクバス 砂川子どもの国
・母と子の一泊旅行 登別温泉・登別マリンパーク
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
「地域での活動の輪を大きく育もう」
●第53回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 江別市
10月●平成21年度全国母子寡婦福祉大会 福岡県北九州市
●日本女性会議2009さかい 大阪府堺市

2014 平成26年

1月 ・札母連研修会
「子どもは親の経済力を選べない
–子どもの貧困と格差をなくすためには–」
3月 ●全国母子寡婦指導者研修会・全国母子部長会議
6月 ・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク 定山渓ビューホテル
7月 ・母子一泊研修旅行 ルスツリゾート
8月 ・創立60周年記念 札幌市母子寡婦福祉大会
「音楽の力–母として、ヴァイオリニストとして–」
9月 ●全国母子寡婦福祉研修大会 秋田県
●第58回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 秋田県
10月 ・寡婦一泊研修 グリーンパークいわない
●日本女性会議2014札幌 札幌市

2015 平成27年

2月 ・札母連研修会
「女性ホルモンとウェルエイジング」
「知っていますか?『とくとく健診』」
7月 ・母子一泊研修 国立日高青少年自然の家
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
9月 ・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク
ガトーキングダムサッポロ
●第59回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 宮城県
10月●日本女性会議2015倉敷 倉敷市民会館
・寡婦一泊研修 湯の川温泉 ホテル万惣
11月●全国母子寡婦福祉研修大会 大阪府

2016 平成28年

2月 ・札母連研修会
「人間力~幸せと思える人生を送るために」
「災害・危機に備えて–地震・風水害・土砂災害等」
7月 ・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク
ガトーキングダムサッポロ
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
・寡婦一泊研修 ニセコ昆布温泉 甘露の森
9月 ●第60回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 函館市
10月●全国母子寡婦福祉研修大会 佐賀県
●日本女性会議2016秋田 秋田県秋田市

2017 平成29年

1月 ・母子一泊研修 国立日高青少年自然の家
2月 ・札母連研修会
「社会保障と税の一体改革」
6月 ・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク 箱根牧場
7月 ・母子一泊研修 ルスツリゾート
9月 ・第61回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 札幌市
10月 ・寡婦一泊研修 グリーンパークしんとつかわ
●日本女性会議2017苫小牧 苫小牧市
11月●全国母子寡婦福祉研修大会 愛知県

2018 平成30年

2月 ・札母連研修会
「認知症サポーター養成講座」
「だれでもできるお手軽体操」
6月 ・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク おたる水族館
7月 ・母子一泊研修 国立日高青少年自然の家
・寡婦一泊研修 美唄ピパの湯ゆ~りん館
8月 ・札幌市母子寡婦福祉大会
「おなかスッキリ 夜グッスリ
にっこり笑顔で健身生活」
9月 ●第62回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 青森県
10月●日本女性会議2018金沢 石川県金沢市
●全国母子寡婦福祉研修大会 岡山県

2025 令和7年

2月　・札幌市母子寡婦福祉連合会 創立70周年記念式典

2024 令和6年

2月　・札母連研修会
「アンガーマネジメント入門」
「笑いと健康のステキな関係」
7月　・母子・寡婦バスレク ルスツリゾート
9月　・第68回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会 札幌市
●全国母子寡婦福祉研修大会 富山県

2023 令和5年

2月　・札母連研修会
「ストレッチ・リンパマッサージ」
6月　▽わかば会　会長　嵐山尚子
7月　・ひとり親家庭ふれあい交流レク 北大博物館
8月　・札幌市母子寡婦福祉大会
9月　●第67回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 秋田県
●全国母子寡婦福祉研修大会 長崎県
10月・寡婦交流会 鶴雅ビュッフェダイニング札幌

2022 令和4年

7月　・ひとり親家庭ふれあい交流レク 円山動物園
8月　・札幌市母子寡婦福祉大会
「災害・危機に備えて–風水害」
9月　●第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 北海道
10月●日本女性会議2022鳥取くらよし (オンライン開催)
11月●全国母子寡婦福祉研修大会 (オンライン開催)

2021 令和3年

10月●日本女性会議2021甲府 (オンライン開催)

2020 令和2年

2月　・札母連研修会
「歯の健康×カラダの健康×心の健康」
11月●日本女性会議2020あいち刈谷 (オンライン開催)

2019 令和元年

2月　・札母連研修会
「風水害・地震等の備え
–胆振東部地震の経験等踏まえて–」
7月　・ひとり親家庭等ふれあい交流バスレク 定山渓ビューホテル
・母子一泊研修 国立大雪青少年交流の家
8月　・札幌市母子寡婦福祉大会
「備えあれば憂いなし
万が一への準備とエンディングノートの書き方」
9月　・寡婦一泊研修 ほっぽろ温泉サンセットプラザ
●第63回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会 山形県
10月●全国母子寡婦福祉研修大会 川崎市

編　集　後　記

このたび札母連創立70周年記念事業として、令和7年2月2日に開催した記念式典の開催とあわせて、70周年記念誌を発行することといたしました。

この記念誌は60周年以降の10年の取り組みを中心に写真や各種データ資料を基に編集しましたが、この期間には北海道胆振東部地震や、新型コロナウイルスのまん延といった、札母連の活動に直接影響を及ぼすような災害等も生じました。

記念誌作成には実行委員会で幾度も話し合いをもって取り組みましたが、不備な点が多々ありますことをお詫び申し上げます。

また、記念誌の発行にあたりましては、ご多忙の中、御寄稿いただきました関係者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

編　集　委　員

委員長　箭原恭子

委　員　阿部孝子　伊藤千登世
溝江眞紀　對馬成江
伊藤直美　佐藤友美
川村文恵　櫻井一清（事務局）
大沼美由紀（事務局）　冨岡加代子（事務局）

創立70周年記念誌

発　行　令和7年5月
発行者　公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会
理事長　箭原恭子
〒060-0042　札幌市中央区大通西19丁目
札幌市社会福祉総合センター内
TEL　011-631-3270
FAX　011-643-5904
e-mail　mam@satsuboren.or.jp
URL　https://satsuboren.or.jp

印　刷　有限会社 斎藤印刷

表紙題字　金子弥生先生

70th

Satsuboren